Empowered by Innovation







Smart Display

Smart Display 「「」」のを使ってできること

離れた場所からホストPCを操作!

お手持ちのホストPCとSmart Displayを ワイヤレスLANで接続すると、ワイヤレス LANの電波が届く範囲であればどこからで もSmart Display上にホストPCの画面を 表示させて操作できます。

含まずは接続とセットアップ→PART2

離れた場所で操作していても、アプリケー ションやデータはホストPC内のものを操作 しているだけなので、後から同期をとったり などの面倒なデータ管理も必要ありません。



スタイラスで簡単操作!

スタイラス(ペン型のポインティングデバ イス)を使って、ホストPCのアプリケー ションやデータを簡単に操作できます。文 字入力をしたいときは、入力パネルが利用 できます。

β スタイラスや入力パネルを使う→PART3



Smart Display単体でも こんなことができます!

メモリカードにデジタルカメラで撮った 写真データを入れてSmart Displayでス ライドショー表示したり、インターネット へ接続してホームページの閲覧を楽しむ ことができます。

珍 操作のしかた→PART3



キーボードやマウスも接続できます!

Smart Displayでキーボードやマウスを使いたいときは、USBタイプのキーボードやマウスを接続して操作できます。また、外部ディスプレイにSmart Displayの画面を表示することもできます。

機器を取り付ける→PART4

このマニュアルの表記について

記号

チ ェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく 読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用 しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
★ ×	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
6 参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

記載内容

- ・本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。
- ・Windowsの「スタート」ボタンから行う操作は、「」で囲んで記載しています。

記載例	意味
「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」- 「システムツール」-「システムの復元」をクリック する	「 」で囲まれた項目を順番に選択す ることを表しています。

ソフトウェアなどの正式名称

Smart Display	Microsoft® Windows® Powered Smart Display
OSの名称	Microsoft® Windows® CE for Smart Displays
Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本 語版 Service Pack 1
Windows CE	Microsoft® Windows® CE.NET
インターネット、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5.5 for Windows® CE
イメージビューワ、 ImageViewer	Microsoft® Image Viewer Ver2.1

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づき技術基準認証済みの通信 機器が搭載されています。認証番号は次のとおりです。

通信機器	認証番号
無線LAN(2.4GHz)	D02-0007JPB

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。 この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをし てください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお 気づきのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらず いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や 機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図され ておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害など が生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機に添付のCD-ROMは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェア使用条件適 用一覧」をお読みください)。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作 権の侵害となります。

Microsoft、Windows、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の 国における商標または登録商標です。

National Semiconductorは登録商標であり、Geodeは、ナショナル セミコンダクター コーポレーションの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

◎NEC Corporation, NEC CustomTechnica,Ltd. 2003 日本電気株式会社、NECカスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省 の許可が必要となる場合があります。 必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。 輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせくだ さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.NEC^{*1} will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.NEC^{*1} does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law.Export without necessary permit is punishable under the said law.Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1:NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

安全にお使いいただくために

- ・製品を使用する前に必ずこの「安全にお使いいただくために」をお読みください。
- ・注意事項を守って製品をご使用ください。

このマニュアルでは、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。



■使用上の注意









●本製品を火中に投入したり、加熱したり、端子をショートさせたりしないでください。

発煙、発火、破裂の原因となることがあります。



● 引火性のガスや発火性の物質がある場所では、絶対に使用しないでください。 火災、爆発の原因になります。





■バッテリパック使用上の注意

金注意 金人注意 金沢注意 金沢注意 金沢注意 金沢注意 金沢注意 金沢注意 金沢注意 な変しないでください。 発熱、発火、破裂、あるしは液漏れしたりすることがあります。万一、バッテリパックから漏れた液が身体に付した場合は、人体に影響を及ぼすおそれがありますので、水でよく洗い落としてください。弊社指定のバッテリパック以外を使用された場合、保証の範囲外となります。 バッテリパックには強い衝撃を加えないでください。また、マニュアルの指定の方法で充電してください。 が要を加えたり指定以外の方法で充電したりすると、発熱、発火、破裂、液漏れすることがあります。 バッテリパックは、火の中に入れたり、加熱したり、秋裂したりすることがあります。

■ワイヤレスLAN使用上の注意

・本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、
 2.4GHz全帯域(2.4GHz~2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域
 (2.427GHz~2.47075GHz)が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式を採用しており、
 与干渉距離は40mです。



・本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。

分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。

- ・本製品の電波出力は、社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格(RCR STD-38)」に基づく基準値を下回っています。しかしながら、本製品の通常のご使用に際しては、万が一でも人体に影響を及ぼさないよう、人体との直接的な接触を最小限にした使い方をお勧めします。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
 - -本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されて いないことを確認してください。
 - 一万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
 - -その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など 何かお困りのことが起きたときは、NEC 121 コンタクトセンターまでご相談ください。

NEC 121 コンタクトセンター (フリーコール)0120-977-121

・自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因となる場合があります。

- ・一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります(本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます)。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
 - -本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
 - -影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の 電力を供給してください。
 - -電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- ・トラック無線(CB無線)やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- ・他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。さらに、前記処置を行っても影響が軽減されないときは、NEC 121コンタクトセンターまでご相談ください。
- ・電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。さらに、前記処置を行っても影響が軽減されないときは、NEC 121コンタクトセンターまでご相談ください。
- ・本製品は、電波の特性上、設置場所や環境によって通信距離や通信速度が異なります。
- ・本製品は、ネットワーク名を設定することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止することが可能です。また、本製品は、暗号キーを設定することにより、無線区間での漏洩・傍受を防ぐことが可能です。本製品のセキュリティ向上のため、ネットワーク名と暗号キーを定期的に変更されることをお勧めします。

Ρ

P

<u>P</u>

	このマニュアルの表記について	i
	安全にお使いいただくために	iv
ART	Smart Displayをお使いになる前に	
	箱の山身を確認する	1
	1977月7日についての注音	2
	各部の名称と役割	
	前面/上部/右側面	
	左側面/下部	6
ART	Smart Displayを使えるようにする	7
	セットアップをはじめる前の準備	7
	Smart Displayをセットアップする	
	ファイアウォールの設定をする	
	ホストPCへのログオン/ログオフについて	
	ホストPCにログオン(接続)する	
	ホストPCからログオフ(切断)する	
	電源について	
	省電力機能について	
ART	Smart Displayを使いはじめよう	20
	ダッシュボードについて	
4	スタイラスを使う	
	基本操作	
	スタイラス使用上の注意	
	入力パネルを使う	
	入力パネルを表示する	
	タスクバーの通知領域にあるアイコンで操作する	
	ヘルプを表示する	
	オンラインマニュアルを表示する	
	イメージビューワ(ImageViewer)を使う	
	イメージビューワ(ImageViewer)を起動する	27
	イメージを表示する	27

ヘルプを見る	28
イメージビューワ(ImageViewer)を使用するときの注意	28
イメージビューワ(ImageViewer)を終了する	28
インターネット(Internet Explorer)を使う	29
インターネット(Internet Explorer)を利用できるように設定する	29
インターネット(Internet Explorer)を使用するときの注意	32
インターネット(Internet Explorer)を起動する	32
インターネット(Internet Explorer)を終了する	32
ユーザーを追加する	33
Smart Displayの設定をする	34
「電源」タブの設定	34
「ワイヤレスネットワーク」タブの設定	35
「全般」タブの設定	35
「詳細設定」タブの設定	36
「システム情報」タブ/「デバイス」タブ	36



Smart Displayに接続する	37
USBコネクタ	
接続できるUSB対応機器について	37
USBキーボードとUSBマウスを接続する	
USB対応機器を使用するときの注意	
メモリカードスロット	38
メモリカードをセットする	
メモリカードのデータを見る	40
メモリカードを取り外す	40
ヘッドフォン端子/マイクロフォン端子	41
ヘッドフォン端子について	41
マイクロフォン端子について	41
ミニVGAコネクタ	41
バッテリ	
バッテリ残量の確認方法について	
バッテリの残量が少なくなったら	42
バッテリを充電するときの注意	43
バッテリパックを交換する	43

<u>P A R T</u>

トラ	ラブル解決Q&A	45
	電源ボタンを押しても、画面が表示されない	45
	バッテリパックやケーブル類が正しく接続されていない	45
	バッテリが消耗している	45
	画面をタップしたり、ボタンを押しても何も反応しなくなった…	46
	ホストPCに接続できない	47
	パスワードが間違っている	47
	ホストPCが省電力状態になっている、または電源が入っていない…	47
	周囲に通信の障害となるものがある	47
	ワイヤレス接続が確立していない	47
	ネットワークの設定が間違っている	47
	ホストPCから切断されてしまう	48
	ホストPC側で自動的に省電力状態になるように設定している	48
	アクセスポイントに接続できない	48
	アクセスポイント側でネットワーク名(SSID)を	
	検出されないように設定している	48
	アクセスポイントのチャンネルが12ch以上に設定されている.	48
	TVやDVDなどの動画アプリケーションが動作しない…	48
	Smart Displayを購入時の状態に戻したい	48
付	録	.49
	什様一覧	49
	本体	
	2.4GHzワイヤレスLAN	50
	健康のために	51
	良い作業姿勢をとりましょう	51
	機器をこまめに調節しましょう	51

 アフターケアについて
 52

 保守サービスについて
 52

 消耗品/消耗部品について
 52

 お手入れ
 52

 お手入れをはじめる前に
 52

 お手入れのしかた
 53

索	引	56
	バッテリパックのリサイクルについて	54
	本機を廃棄するには	54
	本機を譲渡するには	53
	譲渡と廃棄について	53

PART1 Smart Displayをお使いになる前に

箱の中身を確認する

梱包箱を開けたら、まず最初に添付品が揃っているかどうか、チェックリストの□を チェックしながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していたと きは、すぐにご購入元にお申し出ください。



^{*:}保守サービスをお受けになるときなどに必要ですので、大切に保管しておいてください。また、本体背面に記載されている型番と製造番号が、保証書の番号と同じになっていることを確認してください。番号が異なっている場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元または、NEC 121ンタクトセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

設置場所についての注意

■本機を置くのに適した場所

- ・屋内の、転倒や落下のおそれがない、平らで十分な強度のある台の上
- ・温度5℃~35℃、湿度20%~80%(結露しないこと)
- ・ホコリが少ない
- ・日陰になっている(直射日光があたらない)場所

■本機を置くのに適さない場所

・本機は、次のような場所では使用/保管しないでください。
 ホコリが多い場所/長時間直射日光が当たる場所/熱のこもる場所/水分や湿気の多い場所/夏の閉めきった自動車内

■本機の近くに置いてはいけないもの

- ・ストーブなどの暖房器具
- 熱で本機が変形したり、異常な動作をすることがあります。
- ・薬品
 - 付着すると本機が溶けたり、変形したりすることがあります。
- ・テレビ、ラジオ
- テレビやラジオにノイズが入ることがあります。
- ・コードレス電話、携帯電話 通話中にノイズが入ることがあります。

各部の名称と役割



① 電源/バッテリランプ(〇〇)

バッテリの充電状態や残量、または電源の状態を表します。

バッテリ駆動時	ACアダプタ接続時
省電力状態、または電源が切れている	_
電源が入っていて、バッテリ残量が十分にある	バッテリの充電が完了 している
_	バッテリ充電中
電源が入っていて、バッテリ残量が少ない	_
電源が入っていて、バッテリ残量があとわずか	_
	バッテリ駆動時 省電力状態、または電源が切れている 電源が入っていて、バッテリ残量が十分にある – 電源が入っていて、バッテリ残量が少ない 電源が入っていて、バッテリ残量があとわずか

チェック

ACアダプタを接続している場合、省電力状態(p.19)や電源が切れている状態のときでも、電源/バッテリランプは消灯しません。

② ワイヤレスランプ(仰)

ワイヤレス通信の状態を表します。

ランプ	説明
消灯	ワイヤレス通信不可
緑色に点灯	ワイヤレス通信可能(良好)
オレンジ色に点灯	ワイヤレス通信できるが、電波が弱い

③ メモリカードアクセスランプ(凹)

メモリカードのデータを読み書きしているときに点灯します。

ランプ	説明
消灯	メモリカードがセットされていない、または本機では使用 できないメモリカードがセットされている
緑色に点灯	メモリカードがセットされている
オレンジ色に点灯	メモリカードにアクセス中

④ 内蔵マイクロフォン

本機では使用できません。

⑤ タッチ スクリーン

メニュー画面(ダッシュボード)(p.20)やホストPCの画面がここに表示されます。 画面上のアイコンなどは、添付のスタイラスで直接タップするなどして操作できます。

⑥ リセットボタン

電源ボタンを押しても省電力状態にならないときや、本機を使っていて突然スタイ ラスに反応しなくなったときなどは、ここをスタイラスの先端で軽く1回押すことで 本機をリセット(再起動)できます(p.46)。また、本機を購入時の状態に戻すときに も使用します(p.48)。

チェック

リセットを行うと、本機の設定などの状態は、前回省電力状態にしたときに保 持された内容に戻ります。

⑦ ミニUSBコネクタ

本機とホストPCとを接続するための専用コネクタです。添付のミニUSBケーブルを 接続します。USB対応機器との接続はできません。

⑧ ミニVGAコネクタ(p.41)

アナログRGBコネクタに対応したディスプレイやテレビに映像を出力するための端 子です。添付の専用アナログRGBケーブルを使います。

⑨輝度調節ボタン(▲ ○、▼ ○)

画面の明るさを調節するボタンです。(▲ 〇)を押すと1段階明るくなり、(▼ 〇)を 押すと1段階暗くなります。

⁽¹⁾ ダッシュボードボタン(∞²)(p.20)

ここを押すと、メニュー画面(ダッシュボード)が表示されます。

- 🗙 🖈 ਦ

ホストPCに接続しているときにここを押すと、ホストPC から切断されます。 イメージビューワ(ImageViewer)やインターネット(Internet Explorer)な どのSmart Displayに内蔵のアプリケーションを使用しているときにここを 押すと、アプリケーションが終了します。

① 入力パネルボタン(🗐)(p.23)

ここを押すと、画面上で文字入力したり、手書き入力したりできる「入力パネル」を起 動できます。

12 電源ボタン(小)(p.19)

本機の電源を入れたり、省電力状態(p.19)にしたり、省電力状態から復帰するときに押します。

- ここを押しても電源が入らないときや省電力状態から復帰できないときは、PART5の「電源ボタンを押しても、画面が表示されない」(p.45)をご覧ください。
- ここを押しても省電力状態にならないときや、スタイラスの操作に反応しなくなったときなどには、PART5の「画面をタップしたり、ボタンを押しても何も反応しなくなった」(p.46)をご覧ください。
- ・ 省電力状態から復帰した後で、再び省電力状態にしたいときは、約7秒以上 の間隔をあける必要があります。
- ・ ACアダプタを接続していても、次のような場合は電源ボタンを押しても電源は入りません。

- バッテリパックが取り付けられていないとき

- バッテリパックは取り付けられているが、ロックされていないとき

13スピーカ(p.35)

本機の音が出力されます。音量の調節については、PART3の「Smart Displayの設定をする」(p.34)をご覧ください。

1 カーソルボタン

スタイラスを使わずに項目を選ぶときに、ここを操作します。キーボードのカーソル 移動キー(↑↓←→)と同じ機能があります。

15 Enterボタン

選択した項目の操作を実行するときに、ここを押します。キーボードの【Enter】キーと同じ機能があります。

16 スタイラス用スロット

スタイラスを使わないときは、ここに差し込んでおきます。

⑦ USBコネクタ(←→)(p.37)

別売のUSBキーボードやUSBマウスを接続できます。USBキーボードやUSBマウス以外のUSB対応機器は接続できません。接続できる機器については、PART4の「USBコネクタ」(p.37)をご覧ください。

⑧ DCコネクタ(----)

添付のACアダプタを接続します。



① メモリカードスロット(PCMCIA)(p.38)

メモリカードを取り付けるスロットです。接続できるメモリカードについては、 PART4の「メモリカードスロット」(p.38)をご覧ください。

② ヘッドフォン端子(○)(p.41)

ヘッドフォンを接続するための端子です。

③マイクロフォン端子(》)

本機では使用できません。

④ スタンド

本機を立てて使用するときに使います。

⑤ バッテリパック(p.42)

使えるコンセントが近くにないなど、ACアダプタが使用できない場所でも、バッテ リのみで本機を使用できます。

⑥拡張用コネクタ

メンテナンス用のコネクタです。お客様は使用できません。

PART 2 Smart Displayを使えるようにする

PART2 Smart Displayを使えるようにする

セットアップをはじめる前の準備

セットアップをはじめる前に、Smart DisplayとホストPC(Smart Displayと接続するパソコン)に次の準備が必要です。

●Smart Display側の準備

・Smart Displayの接続をする

Smart Displayにバッテリパックとケーブル類(ACアダプタ、電源コード、ミニ USBケーブル)が接続されていることを確認してください。接続のしかたについて は、添付の『クイックスタートガイド』をご覧ください。

●ホストPC側の準備

・無線LAN機器を使えるようにする

ホストPCに無線LANアダプタが取り付けられていない場合は、セットアップをはじめる前に必ず取り付けてください。また、アクセスポイント*をお使いの場合は、これらの電源を入れてください。DHCPサーバ機能を利用する場合は有効にしておきます。 *:アクセスポイントを内蔵している無線ルータを含む

・インターネット回線を切断する

ファイアウォールを無効にすると、インターネット経由で外部から不正侵入される 可能性が高まります。デスクトップ右下の通知領域にある。をクリックして、表示さ れる画面で「切断」または「無効にする」をクリックして、インターネット回線を切断 してからセットアップをはじめてください。セットアップが終了して、ファイア ウォール機能を有効にした後で、通知領域にある。をクリックして表示される画面 で「接続」または「有効にする」をクリックすれば、再びインターネット回線に接続で きるようになります。

・ファイアウォール機能を無効にする

お使いのパソコンでファイアウォールソフト(「PCGATE Personal」など)が動作し ていると、正しくセットアップできません。必ずファイアウォール機能を無効にしてか らセットアップをはじめてください。「PCGATE Personal」をお使いの場合は、デス クトップ右下の通知領域にあるでを右クリックして、表示されたメニューから 「PCGATE Personalの終了」をクリックすると「PCGATE Personal」を終了できま す。セットアップが終わったら、ファイアウォール機能を有効にしてSmart Display に必要な設定を行ってください。「PCGATE Personal」をお使いの場合は、この後の 「ファイアウォールの設定をする」(p.16)をご覧になり、設定を行ってください。

^{*:}ルータをお使いの場合は、ルータのファイアウォール機能を有効にしているとセットアップが正しく行われないことがあります。必ずルータのファイアウォール機能を無効にしてからセットアップを行い、セットアップが終わったあとでファイアウォール機能を有効にしてください。

Smart Displayをセットアップする

準備が終わったら、セットアップをはじめます。この後の説明をよく読んで、確実に 操作してください。この作業が終わらないと、Smart Displayは使えるようになり ません。

- 1 管理者権限を持つユーザーアカウントでホストPCにログオンする
- **2** Smart Displayの本体右側面の電源ボタンを押して、電源を入れる しばらくすると、「ようこそ」画面が表示されます。

ようこそ	ようこそ	
デバイスの設定 スタイラスの設定 完了	Smart Display デジイスの課題者行う前に、Smart Display Companion CD 考使ってコ ンピュージに Smart Display サービスをインストールすみ必要があります。詳しい機相注 Smart Display の製造元からのドキュントを参照してくださし。 Smart Display をコンピュージにインストールである。Smart Display とコンピュータ層	
	Of MRRを増加するための Smart Display セットィック フィブー かり目的サニム的されます。 す。 Smart Display の手動設定を希望する上級ユーザーは、[詳細設定] をクリックしてくださ し、	
82 ⁻]	Biteliz	JA



- ホストPC側で「Smart Display セットアップ ウィザード」が終了し、 Smart Displayの画面に「画面の調整」が表示されるまで、Smart Display を操作しないでください。
- ・電源ボタンを押してから「ようこそ」画面が表示されるまでに数十秒かかる ことがあります。その間、NECのロゴが表示された後などに、一時的に画面 が真っ暗なままになることがありますが、故障ではありません。あわてて電 源を切ったりせずそのままお待ちください。
- セットアップが終わるまでは、絶対に電源を切ったり、ケーブル類やバッテリパックを外したりしないでください。万一、停電やコンセントが抜けたなどの理由でセットアップ中に電源が切れてしまった場合は、ケーブル類とバッテリパックをいったん外して、取り付け直してから電源ボタンを押して、はじめからやり直してください。それでも画面が表示されなかった場合は、ご購入元またはNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

3 スマートディスプレイコンパニオンCD-ROMをホストPCのCD/DVDドラ イブにセットする

しばらくすると、「Smart Displayサービスのセットアップウィザードの開始」画 面が表示されます。しばらく待っても画面が表示されない場合は、「スタート」-「マ イコンピュータ」をクリックし、CD/DVDドライブのアイコンをダブルクリック して、表示される画面で「setup.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

Microsoft Smart Display サービス	のセットアップ ウィザード
	Smart Display サービスのセットアップウィ ザードの開始 2074ティは、スマーディスノレイがあなたのコンピュータに接続す るために必要なソフトウェアをインストールするのを手動けします。 統行するには、DxへJをクリックしてください。
	< 戻る(日) (法へいひろう) キャンセル

- **4**「次へ」をクリックする 使用許諾契約の画面が表示されます。
- 5 同意する場合は、「使用許諾契約に同意します」を[●](オン)にして「次へ」をクリックする
- 6「リモートデスクトップを有効にする」画面が表示された場合は、「次へ」をクリックする

しばらくすると、「Smart Displayサービスがインストールされました」と表示されます。

チェック

「Smart Displayサービスがインストールされました」と表示されるまでに、 しばらく(1~2分)何も表示されない場合がありますが、セットアップの処理 を実行していますので、そのままお待ちください。



雪 Smart Display ウィザード	
	USB ケーブルの接続
ようこそ	統行するには、Smart Display とコンピュータを USB ケーブルでつなぐ必要があります。
	ベース ステーションを持っている場合 Smart Display &ベース ステーションに置き、ベース ステーションの電源を差し込んでから、 USB ケーブルでベース ステーションとコンピュータと抽破してください。Smart Display にはケー ブルをつなけないてください。
	ペース ステーションを持っていない場合
	電源をSmart Display に直接つなき、USB ケーブルを使って Smart Display をコンピュー 気は務核します。注意:USB ケーブルの最新で正方形の方を Smart Display に差し込み、 広くて長方形な方をコンピューダに差し込みます。
	USB ケーブル経由で Smart Display が検出されると、ウィザードは自動的に流行されます。
Microsoft	(2) (**)±1/(2)

9『クイックスタートガイド』の「ケーブル類を接続する」で接続したミニUSB ケーブルのもう一方の平らな形をしたプラグを、ホストPCのUSBコネクタ に接続する



しばらくすると「Smart Displayセットアップウィザード」画面が表示されます。



この後に表示される画面は、ネットワークの設定方法によって異なります。次の説 明を参考にして、セットアップを続けてください。



すでにホストPCの無線LANアダプタまたはアクセスポイントを使って無線 LANを利用していて、同じ無線LAN内でSmart Displayを使いたいときに、 無線LANの設定を変更したくない場合は、「手動」をクリックして設定を行って ください。「次へ」をクリックして設定を行うと、利用している無線LANの設定 が自動的に変更されます。

- ・ネットワーク設定を自動で行いたい場合
 - →「次へ」をクリックして、手順12へ進んでください
- ・ネットワーク名(SSID)やWEPキー、Smart DisplayのIPアドレスなどのネットワーク設定を手動で行いたい場合
 - →「手動」をクリックします。しばらくすると「ネットワーク設定の手動入力」画面が 表示されます。手順10へ進んでください

チェック

「ネットワーク設定の手動入力」画面が表示されるまでには、数分かかることが あります。何も操作せずにお待ちください。

10 ネットワーク名(SSID)やWEPキー、Smart DisplayのIPアドレスなどを手 動で設定する

ネットワーク名(SSID)やWEPキーは、ホストPCの無線LANアダプタ(またはア クセスポイント*)に設定されているものと同じ文字列を入力します。また、IPア ドレスやサブネットマスク、ゲートウェイは次のように設定します。 *:アクセスポイントを内蔵している無線ルータを含む ■ホストPCの無線LANアダプタと1対1(アドホックモード)で通信する場合

- ・DHCPサーバ機能を有効にしている場合
 - →「静的IPアドレスを使う」を□(オフ)にする
- ・DHCPサーバ機能を無効にしている(または利用できない)場合
 - →「静的IPアドレスを使う」を図(オン)にして、次のように設定する
 - 「IPアドレス」欄:ホストPCの無線LANアダプタと重複しない数値を割り当 てる(例:ホストPCの無線LANアダプタが「192.168.0.1」の場合は、 「192.168.0.xxx」(xxxは、2~254の任意の数字)を割り当てる)
 - 「サブネットマスク」欄:ホストPCの無線LANアダプタと同じ数値を割り当てる(例:「255.255.255.0」など)
 - 「ゲートウェイ」欄:ホストPCの無線LANアダプタのIPアドレスを入力する(例: 「192.168.0.1」など)

■ アクセスポイントを使って通信する場合

- ・DHCPサーバ機能を有効にしている場合
 →「静的IPアドレスを使う」を□(オフ)にする
- ・DHCPサーバ機能を無効にしている(または利用できない)場合

→「静的IPアドレスを使う」を図(オン)にして、次のように設定する

- 「IPアドレス」欄:アクセスポイントに設定した範囲内で他の機器と重複しない 数値を割り当てる
- 「サブネットマスク」欄:アクセスポイントと同じ数値を割り当てる
- 「ゲートウェイ」欄:アクセスポイントのIPアドレスを入力する

🗐 Smart Display セットアップ ウィザー	۲		Þ
✓ ようこそ ネットワーク ユーザ〜 完了	ネットワーク設定の引 ネットワーク名 (SSID): コンピュータ名: マレビアータ名: マレビアータス: キー:	「動入力」 「」」 「ASCIIII」	
Microsoft	 ・	1880 1888 0 2 288 288 8 188 8 188 7 (天下の) (大へい)>	

11 「次へ」をクリックする

Smart Displayとの接続のテストが行われます。テストの結果によって、この後に進む手順は異なります。次の説明を参考にして、セットアップを続けてください。

- ・接続に成功した場合
 - → 手順17へ進んでください
- ・接続に失敗した場合
 - →「接続に失敗しました」と表示されるので、「トラブルシューティング」をクリックして接続に失敗した原因を診断するか、画面右上の×をクリックしてセットアップをいったん終了し、問題を解決した後、もう一度はじめからセットアップをやり直してください。このとき、セットアップの途中で「製品のメンテナンス」画面が表示されるので、「修復する」が (オン)になっていることを確認して「次へ」をクリックし、セットアップを進めてください)
- **12**「既存のワイヤレス ハードウェアの使用」画面が表示されたら、Smart Display を使う環境によって次のいずれかを行う
 - ・ホストPCの無線LANアダプタと1対1(アドホックモード)で通信する場合
 →「次へ」をクリックして、手順15へ進んでください
 - ・すでに利用している無線LAN機器と通信する場合
 - → 「Smart Displayの購入前から持っていたワイヤレスネットワークハードウェ アを使う」を図(オン)にして、「次へ」をクリックし、手順13へ進んでください
- 13 「ワイヤレス ネットワークの選択」画面が表示されたら、一覧から接続するワ イヤレスネットワークを選び、「次へ」をクリックする

一覧に表示されない場合は、無線LAN機器のネットワーク設定をもう一度確認した後、「再試行」をクリックしてください。それでも一覧に表示されない場合は、お使いの無線LAN機器がIEEE802.11b規格に対応しているかどうか確認してください。

IEEE802.11a規格にのみ対応している無線LAN機器は、Smart Displayと通信できません。

- 14 「WEPキーの入力」画面が表示された場合は、接続するワイヤレスネットワー クに設定したWEPキーと同じ文字列を入力して、「次へ」をクリックする Smart Displayとの接続のテストが行われます。テストの結果によって、この後に 進む手順は異なります。次の説明を参考にして、セットアップを続けてください。
 - ・接続に成功した場合
 - → 手順17へ進んでください
 - ・接続に失敗した場合
 - →「接続に失敗しました」と表示されるので、「トラブルシューティング」をクリックして接続に失敗した原因を診断するか、画面右上の×をクリックしてセットアップをいったん終了し、問題を解決した後、もう一度はじめからセットアップをやり直してください。このとき、セットアップの途中で「製品のメンテナンス」画面が表示されるので、「修復する」が (オン)になっていることを確認して「次へ」をクリックし、セットアップを進めてください

15 「ワイヤレスネットワークアダプタの構成」画面が表示されたら、ホストPCに 取り付けられている無線LANアダプタが一覧に表示されていることを確認 して、「次へ」をクリックする

Smart DisplayとホストPCの無線LANアダプタのネットワーク設定が行われ ます。設定の結果によって、この後に進む手順は異なります。次の説明を参考にし て、セットアップを続けてください。

- ・ネットワーク設定が正しく行われた場合
 - →「ネットワーク設定の参照と印刷」画面が表示されます。ここに表示された内容は、 後から無線LANに機器を追加するときに必要になりますので、控えておくことを おすすめします。控え終えたら、手順16へ進んでください

🗊 Smart Display セットアップ !	リィザード	×
✓ ようごそ ネットワーク ユーザー 完了	ネットワーク設定の参照と印刷 Smart Display では、ワイヤレスネットワークは以下のように設定されています ネットワークな OSID ネットワーク 切えは WFD ネー コンピューの D P FLY 2 Smart Dugay P J FLY 2	
	今年にの設定を参照するために(時 住外のデバイスをごのネットワークに追加する)この設 定任何期代考えによ、日時期を対ファルでくだえい、 日期が除了したら、したく」をフリックしてくだとい。	
Microsoft		

- ・ネットワーク設定が正しく行われなかった場合
 - →「セットアップウィザードは完了しませんでした」と表示されるので、「終了」をク リックしてセットアップをいったん終了し、問題を解決した後、もう一度はじめ からセットアップをやり直してください。このとき、セットアップの途中で「製品 のメンテナンス」画面が表示されるので、「修復する」が (オン)になっているこ とを確認して「次へ」をクリックし、セットアップを進めてください

16 「次へ」をクリックする

「ワイヤレス接続のテスト」画面が表示され、Smart Displayとの接続のテストが行われます。テストの結果によって、この後に進む手順が異なります。次の説明を参考にして、セットアップを続けてください。

・接続に成功した場合

→ 手順17へ進んでください

- ・接続に失敗した場合
 - →「セットアップウィザードは完了しませんでした」と表示されるので、「終了」をク リックしてセットアップをいったん終了し、問題を解決した後、もう一度はじめ からセットアップをやり直してください。このとき、セットアップの途中で「製品 のメンテナンス」画面が表示されるので、「修復する」が (オン)になっているこ とを確認して「次へ」をクリックし、セットアップを進めてください

- 17 現在セットアップを行っているユーザーアカウントにパスワードが設定されていない場合は、「パスワードの選択」画面が表示されるので、パスワードを設定して「次へ」をクリックする 「Smart Displayユーザーの追加」画面が表示されます。
- **18** Smart DisplayからホストPCに接続するユーザーアカウントを追加したい 場合は、一覧からユーザーアカウントをクリックする

✓ メモ 現在セットアップを行っているユーザーアカウント以外にパスワードを設定 しているユーザーアカウントがある場合は、一覧にユーザーアカウントが表示 されます。

- **19 「次へ」をクリックする** 「セットアップウィザードの完了」画面が表示され、Smart Displayの画面に「画 面の調整」が表示されます。
- 20「完了」をクリックする 「Smart Display セットアップ ウィザード」が終了します。 これでホストPCでのセットアップは終了です。続けてSmart Displayでのセッ トアップを行います。
- 21 Smart Displayの「画面の調整」画面で「次へ」をタップし、画面の表示を見な がら画面の+にスタイラスの先端を合わせていき、最後に画面を軽く1回 タップする

「調整の完了」画面が表示されます。



タップ

スタイラスの先端でSmart Displayの画面に表示されるアイコンなどを1回 軽くたたく操作です。マウスの左ボタンを1回押す動作(クリック)と同じ機能 です。

22 「次へ」をタップする

この後は、画面の表示を見ながら操作してください。最後に「完了」をタップして、次のようなメニュー画面(ダッシュボード)が表示されればセットアップは完了です。



ホストPCのCD/DVDドライブからスマートディスプレイコンパニオンCD-ROM を取り出して、ミニUSBケーブルを取り外してください。 バッテリのみで使用する場合は、ACアダプタと電源コードも取り外します。

ファイアウォールの設定をする

セットアップが終わったら、必ずホストPC(またはアクセスポイント)のファイア ウォール機能を有効にしてSmart Displayに必要な設定を行ってください。ここで は、ファイアウォールソフト「PCGATE Personal」の設定を変更する方法を説明し ます。

- **1** 「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCGATE Personal」-「PCGATE Personal」の順にクリックする 「PCGATE Personal」が記動します。
- 2 デスクトップ右下の通知領域にある かをダブルクリックする
- 3 「SECURITY」をクリックし、「詳細設定」をクリックする

4 「インターネットゾーン個別設定」タブの画面で次のように設定する



5 設定が終了したら、図をクリックする

これで、設定は完了です。

ホストPCへのログオン/ログオフについて

本機では、Windows XPのリモートデスクトップ機能を使って、離れた場所でホストPCのアプリケーションやデータを利用できます。ここでは、ホストPCへのログオン(接続)とホストPCからのログオフ(切断)のしかたについて説明します。

ホストPCにログオン(接続)する

- 1 ホストPCの電源を入れる
- 2 Smart Displayの電源を入れて、メニュー画面(ダッシュボード)(p.20)に 表示されたユーザーアカウントのアイコン(図)をタップする 「Windowsヘログオン」画面が表示されます。
- 3 パスワードを入力し、「OK」をタップする ユーザーアカウントに設定されているパスワードを入力します。パスワードの入 力には、Smart Displayの入力パネルを使います。本体右上にある入力パネルボ タン(写) を押し、表示されたスクリーンキーボードのキーをスタイラスでタッ プしてパスワードを入力してください。

6 参照

入力パネルの使い方→PART3の「入力パネルを使う」(p.23)、またはSmart Displayのヘルプ (p.26) しばらくすると、メニュー画面(ダッシュボード)がホストPCの画面に切り換わ り、画面中央に「Smart Displayのチュートリアルを実行しますか?」と表示され ます。ここで「はい」をタップすると、Smart Displayのチュートリアル(基本的な 知識の紹介と練習)が実行されます。チュートリアルが終了すると、次のような画 面が表示されます。画面に表示されているアイコンやメニューはスタイラスで タップして操作できます。



Z XE

- ・Smart Displayのチュートリアル実行の画面は、ホストPCに一番最初に ログオンしたときのみ表示されます。
- Smart Displayのチュートリアルは後からでも実行できます。「スタート」-「すべてのプログラム」-「Microsoft Smart Display Services」-「Smart Display チュートリアル」をタップしてください。

 ダッシュボードの「編集」(p.20)をタップすると表示される「接続の編集」 画面で、「パスワードを記憶する」をタップして「にし、ユーザーアカウントの のパスワードを入力しておくと、接続リストでで「ユーザーアカウントの アイコン)またはユーザーアカウント名をタップするだけで、自動的にホス トPCにログオンすることができます。

ホストPCからログオフ(切断)する

- 1 起動中のアプリケーションを終了した後、ダッシュボードボタン(∞))を押す 「Windowsセッションの切断」画面が表示されます。
- **2** [OK]をタップする

ホストPCの画面がメニュー画面(ダッシュボード)に切り換わります。

電源について

本機の電源を入れたり切ったりするときは、本体右側面にある電源ボタンを押します。 電源ボタンを押して電源を切ると、本機は電源を切る前の状態を保持して終了しま す。再び電源ボタンを押して電源を入れたときには、保持している画面状態を呼び出 して、すばやく起動できるようになっています。

ホストPCと接続しているときに電源ボタンを押した場合、ホストPCとのネット ワークは切断されます。

電源ボタンを押しても電源を切れないときは、PART5の「画面をタップしたり、ボタンを押しても何も反応しなくなった」(p.46)をご覧ください。

省電力機能について

本機は、画面をタップしたり、ボタンを押さない状態がしばらく続くと、自動的に画 面が薄暗くなったり、真っ暗になります。これは、無駄な電力を使わないように、省電 力機能が働いたためです。

この場合、次の操作をすることで元の状態に戻すことができます。

●画面が薄暗いとき

画面をタップする、またはカーソルボタンを動かす

●画面が真っ暗なとき

画面をタップする、カーソルボタンを動かす、または電源ボタンを押す(それで も元の状態に戻らないときは、電源ボタンをもう1回押す)

省電力状態になるまでの時間は、メニュー画面(ダッシュボード)にある「設定」ボタンから変更できます。詳しくは、PART3の「Smart Displayの設定をする」(p.34)をご覧ください。

PART3 Smart Displayを使いはじめよう

ダッシュボードについて

Smart Displayの電源を入れたときに表示されるメニュー画面をダッシュボード と呼びます。イメージビューワ(ImageViewer)などを起動しているときや、ホスト PCに接続中のときでも、本体右上にあるダッシュボードボタン(gg)を押すことで ダッシュボードを表示させることができます。

しチェック

ホストPCと接続中にダッシュボードボタン(d)を押すと、ホストPCから切 断されます。また、イメージビューワ(ImageViewer)やインターネット (Internet Explorer)などのアプリケーションを使用中にダッシュボードボ タン(d))を押すとアプリケーションが終了します。



① [接続リスト]

ホストPCに接続可能なユーザーアカウントがここに表示されます。のまたはユー ザーアカウント名をタップするとホストPCに接続することができます。新たにユー ザーを追加(p.33)していくと、ここに複数のユーザーアカウントが表示されるよう になります。

② 「設定」ボタン 💼

本機の各種設定が行えます。設定できる項目などについては、「Smart Displayの設定をする」(p.34)をご覧ください。

③ 編集

ここをタップすると、接続ユーザーごとの「接続の編集」画面が表示されます。ホスト PCに接続するためのパスワードなどを編集できます。
- シメモ 「パスワ

「パスワードを記憶する」をタップして にし、ユーザーアカウントのパス ワードを入力しておくと、接続リストで (ユーザーアカウントのアイコン) またはユーザーアカウント名をタップするだけで、自動的にホストPCにログ オンすることができます。また、あわせて「既定の接続」欄の「Smart Display をオンにしたら、自動的にこの接続を開始する」をタップして にしておく と、次回以降本機の電源を入れたときに、接続リストから選択しなくても自動 的にホストPCにログオンすることができるようになります。

④「バッテリ」アイコン

本機の電源状態が表示されています。

アイコン	説明
	バッテリで駆動していることを表しています。アイコン表示や アイコンの右に表示されるパーセンテージでバッテリ残量を確 認できます。バッテリ残量が10%以下になると、アイコンの右 に「とても低い」と表示されます。この場合はACアダプタを取り 付けて、バッテリの充電を行ってください。詳しくは、PART4の 「バッテリ」(p.42)をご覧ください。
*	AC電源で駆動していることを表しています。バッテリを充電中の場合は、アイコンの右にバッテリ残量が表示されます。

🕈 🖈

- ・電源状態は本機左上にある電源/バッテリランプ(
 (p.3)。
- ・「バッテリ」アイコンをタップすると、電源の設定の画面が表示されます (p.34)。

⑤「ネットワーク」アイコン

ホストPC(またはアクセスポイント)からSmart DisplayへのワイヤレスLANの電 波受信状態を示します。

このアイコンは、Smart DisplayがホストPC(またはアクセスポイント)に接続されているかどうかの状態を示すものではありません。

アイコン	説明
attl	電波受信状態がとても良い
лШ	電波受信状態が悪い

- 🕄 🗶

「ネットワーク」アイコンをタップすると、ワイヤレスネットワークの設定の画 面が表示されます(p.35)。

⑥ 「ヘルプ」ボタン 🕜

Smart Displayの簡単なヘルプが表示されます。使い方など、さらに詳しいヘルプ をご覧になりたいときは「ヘルプを表示する」(p.26)をご覧ください。

スタイラスを使う

ここではスタイラスの使い方を説明します。スタイラスはマウスなどと同じポイン ティングデバイスのひとつです。ペンのように扱えて、直接画面に触れて操作できる ので簡単に操作できます。スタイラスは本体右側面のスタイラス用スロットに差し 込まれています。スタイラスで直接触れる画面部分をタッチスクリーンと呼びます。

基本操作

スタイラスではマウスと同様にクリックやダブルクリック、ドラッグなどの操作ができます。クリックのことをタップ、ダブルクリックのことをダブルタップと呼びます。 スタイラスを操作するときは、なるべくタッチスクリーンに対してスタイラスが垂直に近い角度で接するようにしてください。

■タップ(クリック)

画面上のアイコンやボタンなどをスタイ ラスで軽く1回たたく操作です。 ■ダブルタップ(ダブルクリック)

画面上のアイコンなどをスタイラス で軽く2回すばやくたたく操作です。





■ドラッグ

画面上のドラッグしたいアイコンなどをスタイラスで触れ、スタイラスをアイコンから離さずそのまま移動したい場所まで動かす操作です。



スタイラス使用上の注意

- スタイラスを使用するときは、タッチスクリーンの上に指などを置かないでください。タッチスクリーンは指でも操作できるので、タッチスクリーン上にスタイラスと指との両方の圧力がかかると正しく操作できなくなることがあります。
- スタイラスの先(タッチ スクリーンに触れる部分)に傷がついたりゴミがついたりしないようにしてください。傷やゴミがついた状態で使用するとタッチ スクリーンを損傷するおそれがあります。
- スタイラスでタップした位置とマウスポインタの動きにズレがあるような場合
 や、うまくダブルタップできない場合は再調整を行ってください。再調整のしかたは「「全般」タブの設定」(p.35)をご覧ください。
- ・タッチスクリーンの損傷を防ぐため、ペンや鉛筆、またはその他の道具をスタイ ラスの代用にしないでください。

入力パネルを使う

入力パネルを使って文字を入力することができます。

入力パネルには、Smart Display上に「スクリーンキーボード」を表示してキーを タップして入力するモードと、「手書きパッド」を表示して手書きで文字を入力する モードがあります。

入力パネルを表示する

本機右上にある入力パネルボタン(*劉*)を押すと、入力パネルが表示されます。 もう一度入力パネルボタン(*劉*)を押すと入力パネルが消えます。

ここをタップすると、 「スクリーンキーボー ド」が利用できます。 】	ここをタップすると、 「手書きパッド」が利 用できます。 ┃	ここをタップすると、 「右クリック」の操作 ができます。 ┃	入力/ ⁾ ズを変 	ペネルのサイ 更できます。
▲ 入力パネル		Carlos and and a		ここちの小プオスト
英▼ 回 + - ボー Esc 漢 1 n 2 s 3	ド▼ ♪ 手書さバッド \$ 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 0 1 0	○株石クリック Q ホ ゆ 9 ± 0 わ - 座 へへ ¥	BS	 ここをタッフタると、 「ホバー」の機能が 利用できます。
Tab q _{f2} w _c e _t	r y t m y w u t i t	о _в р _щ , (,	~	
Caps a to s s			Shift	
Ctrl & Alt #3	変換 変換 カラ	v , ta , e / b + 6	→	

■ スクリーンキーボード 💷

キーボードを打つようにスタイラスを使ってスクリーンキーボードの各キーをタッ プすることで文字を入力できます。



■ 手書きパッド 🥢

スタイラスを使って「手書きパッド」画面に直接文字を書きます。 手書き入力した文字は画面上のテキストに変換されます。

●手書きパッドの使い方

- 1 入力パネルの「手書きパッド」をタップする
- 2 アプリケーションなどで、文字入力を開始したい位置をタップする

3 手書きパッドの左側のウィンドウ領域に1文字ずつ入力する

文字を入力すると、変換候補が右に表示されます。このとき、入力した文字に最も 近いと思われる文字が左上に表示されています。



スタイラスを使って、ここに1文 左側のウィンドウ領域に手書き入力した文字 字ずつ手書き入力しますの変換候補がここに表示されます

- 4 変換候補の中から入力したい文字をタップする
- 5 Enterキー(→)をタップして確定する

- 🔁 🗶 E

ひらがなやカタカナを入力した場合、確定する前に「変換」をタップして漢字な どに変換することもできます。

テキストの入力方法について詳しくは、Smart Displayのヘルプ(p.26)の「Smart Display の入力パネル」をご覧ください。

■ 右クリック

入力パネルの「右クリック」を選択すると、スタイラスでのタップ操作が、マウスの右 クリックの機能になります。右クリックの操作を1回行うと、右クリックモードは自 動的に終了します。

右クリックモードをロックしておくこともできます。設定は入力パネルの左上にある るをタップすると表示されるメニューから「詳細設定」をタップし、「右クリック モードのロック」をタップしてチェックをつけてください。

■ ホバー 💦

ホバーは、通常動作ではスタイラスでアイコンなどに触れると選択された状態に なってしまうところを、ポイント(マウスポインタを合わせただけの状態)の操作に する機能です。デスクトップ上のポップアップのヒントを見るときなどに利用でき ます。

タスクバーの通知領域にあるアイコンで操作する

ホストPCに接続しているときは、タスクバーの通知領域にいが表示されます。 プすると、バッテリ残量や電波状況の表示と、利用できるメニューが表示されます。



ヘルプを表示する

Smart Displayのヘルプは、ホストPCにインストールされています。ヘルプは次の どちらかの方法で表示できます。

■ホストPCに接続しているとき

Smart Display側で次の操作を行います。

タスクバーの通知領域にある 「をタップして表示されるメニューから「Smart Display ヘルプを開く」をタップし、「Windows Powered Smart Display」をタッ プします。

■ホストPCに接続していない、またはSmart Displayが利用できないとき

ホストPC側で次の操作を行います。

「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックして「ヘルプとサポートセンター」を開き、「ヘルプ トピックを選びます」の「ハードウェア」をクリックしてから、「ハード ウェア」の欄で「Windows Powered Smart Display」をクリックします。

オンラインマニュアルを表示する

Smart Displayのオンラインマニュアルは、ホストPCにインストールされています。オンラインマニュアルは次のどちらかの方法で表示できます。

■ホストPCに接続しているとき

Smart Display側で次の操作を行います。

タスクバーの通知領域にある かをタップして表示されるメニューから「Smart Display ヘルプを開く」をタップし、「NEC Smart Display SD10 オンラインマ ニュアル」をタップします。

■ホストPCに接続していない、またはSmart Displayが利用できないとき

ホストPC側で次の操作を行います。

「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックして「ヘルプとサポートセンター」を開き、「ヘルプ トピックを選びます」の「ハードウェア」をクリックしてから、「ハードウェア」の欄で「NEC Smart Display SD10 オンラインマニュアル」をクリックします。

イメージビューワ(ImageViewer)を使う

イメージビューワを使うと、メモリカードに記録してあるデジタルカメラなどの データを、ホストPCに接続せずにSmart Display単体で見ることができます。イ メージビューワでは、BMP、JPEG、PNGのイメージを表示でき、いろいろな効果を つけたスライドショー表示が設定できます。

イメージビューワ(ImageViewer)を起動する

1 ダッシュボードの画面右にある イメージビューワが表示されます。

イメージを表示する

- 1 デジタルカメラなどのデータが入ったメモリカードをメモリカードスロット にセットする(p.39)
- 2 「ファイル」メニューをタップし、「参照」をタップする
- **3**「ファイルの場所」で「Memory Card」をタップする イメージが保存されているフォルダを選択します。
- **4** [OK]をタップする

サムネイル表示されます。



5 サムネイル表示されているイメージをダブルタップする イメージが画面いっぱいに表示されます。 画面左下の ──をタップするとメニューが表示されます。 メニューからイメージの回転やズームを行ったり、「閉じる」をタップして表示を終 了し、サムネイル表示に戻すことができます。

スライドショー表示する

- 1 「イメージを表示する」(p.27)の手順1~手順4を行う
- 2「スライドショー」メニューをタップし、「ショーを表示」をタップする
- 3 表示されるメニューから、スライドを手動で送るか自動で送るかなどを選択する

スライドショーがはじまります。

終了する場合は、画面左下の<u></u>をタップし、メニューから「スライドショーの終了」 をタップしてください。

-**-** ×--

「スライドショー」メニューの「スライドショーを設定…」では、スライドショー 表示するときに、それぞれのイメージごとに表示時間を設定したり、効果をつ けることができます。

ヘルプを見る

イメージビューワのヘルプは、次のどちらかの方法で表示できます。

- ・イメージビューワを起動し、画面右上にある 🤂 をタップします
- ・ダッシュボードの画面の右にある をタップし、画面上部のメニューから「お気 に入り」をタップして、表示されたメニューの「Microsoft Image View ヘルプ」 をタップします

イメージビューワ(ImageViewer)を使用するときの注意

Smart Displayに内蔵されている「イメージビューワ(ImageViewer)」でスライド ショーの設定を保存するときは、名前を必ず半角英数字で入力してください。名前に 全角文字が含まれていると、スライドショーの設定を開くときに正しく設定情報が 読み込まれません。

イメージビューワ(ImageViewer)を終了する

終了するときは、画面右上の×をタップするか、または「ファイル」-「終了」をタップ してください。 ダッシュボードボタン(の)を押してイメージビューワを終了することもできます。

インターネット(Internet Explorer)を使う

Smart Displayに内蔵されている「インターネット(Internet Explorer)」を使って、 ホームページを見ることができます。

インターネット(Internet Explorer)を利用できるように設定する

ホストPCの無線LANアダプタと1対1(アドホックモード)で通信しているときに、 Smart Displayに内蔵の「インターネット(Internet Explorer)」を使ってインター ネットに接続するには、次の設定を行う必要があります。

■ ホストPCでインターネットを利用できる環境に設定しておく

Smart Displayに内蔵の「インターネット(Internet Explorer)」は、ホストPCのインターネット接続環境を経由してホームページを表示します。このため、あらかじめホストPCがインターネットに接続できるように設定しておく必要があります。

■ホストPCのインターネット接続を共有できるようにする

- ┃ ホストPC側で「スタート」-「接続」-「すべての接続の表示」をクリックする
- 2 インターネット接続の設定がされているアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする

- 🕶 🗸 🗲

プロバイダから提供されるインターネット接続用の専用プログラムを利用し ている場合は、「ネットワーク接続」ウィンドウにインターネット接続の設定が されているアイコンが表示されないことがあります。この場合は、メニュー バーから「ファイル」-「新しい接続」をクリックして表示される「新しい接続ウィ ザード」を使ってアイコンを作成できます。詳しくは、プロバイダから提供され る資料または、Windowsの「ヘルプとサポート」で「新しい接続」で検索し、 「ホーム ネットワーク コンポーネントおよび小規模オフィス ネットワーク コンポーネントの概要」をクリックして表示される画面をご覧ください。

3 「詳細設定」タブをクリックする

4「インターネット接続の共有」欄で、「ネットワークのほかのユーザーに、この コンピュータのインターネット接続をとおしての接続を許可する」を▼にし て、「OK」をクリックする

「インターネットの共有を有効にすると、このコンピュータのLANアダプタが使用するIPアドレスは192.168.0.1に設定されます。」というメッセージが表示されます。



警告メッセージが表示されて設定できない場合は、「詳細設定」タブの「イン ターネット接続の共有」欄の「ホームネットワーク接続」の一覧から「ワイヤレ スネットワーク接続」を選択してください。

5 [はい]をクリックする

この設定を行うことで、ホストPCの無線LANアダプタのIPアドレスは自動的に 192.168.0.1に設定されます。

■ Smart DisplayのIPアドレスを設定する

- 1 Smart Displayのダッシュボードに表示されている「設定」ボタンをタップ する
- 2 「詳細設定」タブをタップする
- **3** IPアドレスを設定する

IPアドレスは、192.168.0.xxx を設定します(xxxは、2~254の任意の数字で、 ホストPCの無線LANアダプタと重複しないアドレスにしてください)。

例:	IPアドレス	192.168.0.10
	サブネットマスク	255.255.255.0 - ペントワークを共有化した
	デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1 「場合は、この値は固定値
		C 9

4 DNS設定を指定する

プロバイダから指定されるDNSのアドレスを指定してください。

5 [OK]をタップする

■ホストPCのファイアウォールの設定を変更する

- **1** タスクバーの通知領域にある をダブルクリックする 「PCGATE Personal」を起動していない場合は、 は表示されていません。「スタート」-「すべてのプログラム」-「PCGATE Personal」-「PCGATE Personal」 をクリックして起動してください。
- 2 「SECURITY」をクリックし、「詳細設定」をクリックする
- 3 「ローカルゾーンの内容」タブをクリックする

- PARF 3 Smart Displayを使いはじめよう
- 4 「追加」-「サブネット」欄をクリックし、表示された画面で次のように入力して、「OK」をクリックする

smart displa	ッのフロパティ			×	
記用	smart display				
IPアドレス	192	168	0	0	
サブネットマスク	255	255	255	0	場合は、この値は固定値
			<u>o</u> k _	キャンセル	ਟਰ <i>ਦ</i> ਰ

5 🐼をクリックする

■ インターネット回線に接続する

- 1 「スタート」-「接続」-「すべての接続の表示」をクリックする
- 2 インターネット接続の設定がされているアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「接続」をクリックする

以上で設定は完了です。ホストPCの無線LANアダプタ経由で、Smart Displayの「インターネット(Internet Explorer)」を使ってインターネットに接続できるようになります。

アクセスポイントを使っている環境で「インターネット(Internet Explorer)」を利用する場合は、Smart Display側で次の設定を行う必要があります。

● プロバイダからDNSサーバーのアドレスを指定されている場合

「詳細設定」タブ(p.36)で、「DNS設定」欄にプロバイダから指定されたDNSアドレスを入力します。

● プロバイダからプロキシを指定されている場合

「インターネット(Internet Explorer)」を起動して、「表示」-「インターネットオプション」の「接続」タブをタップし、「プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセスする」を
(オン)にして、プロバイダから指定された値を入力します。

なお、お使いのアクセスポイントやプロバイダによっては、インターネット接続用の 専用プログラムが必要となる場合やインターネットに接続できない場合がありま す。インターネット接続用の専用プログラムを利用している場合は、「ネットワーク 接続」ウィンドウにインターネット接続の設定がされているアイコンが表示されな いことがあります。この場合は、メニューバーから「ファイル」-「新しい接続」をクリッ クして表示される「新しい接続ウィザード」を使ってアイコンを作成できます。詳し くは、通信機器のマニュアル、プロバイダから提供される資料、またはWindowsの 「ヘルプとサポート」で「新しい接続」で検索し、「ホーム ネットワーク コンポーネン トおよび小規模オフィス ネットワーク コンポーネントの概要」をクリックして表 示される画面をご覧ください。

また、アクセスポイント側でファイアウォール機能を有効にしている場合は、Smart Displayが接続できるように設定を変更する必要があります。設定方法は、アクセス ポイントによって異なります。詳しくは、アクセスポイントに添付のマニュアルをご 覧ください。

インターネット(Internet Explorer)を使用するときの注意

Smart Displayに内蔵の「インターネット(Internet Explorer)」では、フラッシュ やPDFなどのプラグインを使用するページを表示したり、プラグインなどをインス トールすることはできません。また、セキュリティ証明を必要とする、保護されたペー ジ(SSLに対応したページなど)の表示はできません。これらのホームページの表示 には、ホストPCのWebブラウザをご利用ください。

インターネット(Internet Explorer)を起動する

1 ダッシュボードの画面の右にある

インターネット(Internet Explorer)を終了する

「ファイル」-「閉じる」をタップしてください。 ダッシュボードボタン(🔊)を押してインターネット(Internet Explorer)を終了す ることもできます。

ユーザーを追加する

■「ユーザーの追加ウィザード」を使って追加する 「ユーザーの追加ウィザード」の設定操作は次の手順で行います。

- Smart DisplayにミニUSBケーブルを接続する
- 2 ホストPCにログオンし、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Microsoft Smart Display Services」-「ユーザーの追加ウィザード」をクリックする
- 3「USBケーブルの接続」画面が表示されたら、Smart Displayに接続したミニ USB ケーブルのもう一方のプラグをホストPCのUSBコネクタに接続する
- 4 「ユーザーの追加ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックする
- 5 Smart Displayユーザーとして追加可能なユーザーアカウント一覧が表示されたら、追加するWindowsユーザーアカウントを選択し、「次へ」をクリックする
- 6 「完了」をクリックする Smart Displayのメニュー画面(ダッシュボード)の「接続リスト」に、追加した ユーザーアカウントが表示されます。

- - - **- -**

タスクバーの通知領域にかが表示されている場合は、かをタップしてから「Smart Display コントロールパネルを開く」をタップし、表示された画面の「全般」タブで「新規作成…」をタップして「ユーザーの追加ウィザード」を起動することもできます。

■「ユーザーの追加ウィザード」を使わずに追加する

「ユーザーの追加ウィザード」を使わずに追加する場合は、ダッシュボードの「設定」ボタンをタップすると表示される「全般」タブの「新しい接続」欄で行うことができます。ただし、この方法はネットワークやパソコンに詳しいユーザーにおすすめの方法ですので、通常は「ユーザーの追加ウィザード」を使うことをおすすめします。 設定方法については、Smart Displayのヘルプ(p.26)の「Smart Displayのユーザー接続を構成する」-「Smart Displayのユーザー接続を手動で追加する」をご覧ください。

Smart Displayの設定をする

Smart Displayの設定画面は、次の方法で表示させることができます。

■ ホストPCと接続している場合

「Windows Powered Smart Displayのプロパティ」画面で設定します。画面は次のいずれかの方法で表示できます。

- タスクバーの通知領域にある 「をタップし、表示されたメニューから「Smart Displayコントロールパネルを開く」をタップする
- ・「スタート」-「コントロールパネル」をタップし、「プリンタとその他のハードウェ ア」-「Smart Display の設定」をタップする

■ ダッシュボードが表示されている場合

設定ボタン(

)をタップすると表示される

設定」

画面で設定します。

「電源」タブの設定

「電源」タブでは、バッテリ駆動時やAC電源での駆動時に消費電力を節約するための 設定ができます。

Windows Powered Sma	t Displayのプロパティ	\mathbf{X}
全般 電源 ネットワーク	デバイス	
電源		
電源:	AC 電源	ī. I
バッテリ電源の残量	: 100%	
バッテリ電源		
Smart Display を使用 シャットダウンしたりする	していないときは、画面の電源をし と、バッテリを節約することができます	切ったり Smart Display を す。
使用されなくなってか	5画面の電源を切るまでの時間	2分 🔹
使用されなくなってか	らシャットダウンするまでの時間	5分 🔹
AC 電源 Smart Display を使用 シャットダウンしたりする	していないときは、画面の電源をt と、AC 電源を節約することができ	切ったり Smart Display を ます。
使用されなくなってか	う画面の電源を切るまでの時間:	5分 🔹
使用されなくなってか	らシャットダウンするまでの時間	なし
		OK キャンセル

画面は「Windows Powered Smart Displayのプロパティ」画面です

Smart Displayが使用されていない時間が続いた場合、自動的に画面の電源を切ったり、シャットダウンするなどして、バッテリやAC電源を節約するようにします。 「使用されなくなってから画面の電源を切るまでの時間」と「使用されなくなってからシャットダウンするまでの時間」を設定できます。

画面の輝度は、「使用されなくなってから画面の電源を切るまでの時間」に設定した 時間に合わせて自動的に低下します。

設定した時間の50%が経過した時点で、輝度が50%程度に低下し、設定した時間が 経過した時点では、画面が真っ暗になり節電します。

「ワイヤレスネットワーク」タブの設定

「ワイヤレス ネットワーク」タブは、ダッシュボードを表示している場合のみ設定できます。

「ワイヤレスネットワーク」タブには「利用可能なネットワーク」と「優先するネット ワーク」が表示されています。「利用可能なネットワーク」の一覧に、Smart Display が検出したワイヤレスネットワークの名前が表示され、「優先するネットワーク」の 一覧に、ネットワークの優先順位が表示されています。

ワイヤレスネットワークの設定変更は、「利用可能なネットワーク」欄に表示されて いるネットワークを選択し、「構成」をタップして表示される画面で行います。

手動でネットワークの設定をする場合など、設定方法について詳しくは、Smart Displayのヘルプ(p.26)の「Smart Displayのネットワークを構成する」をご覧ください。

「全般」タブの設定

「全般」タブでは次のような設定が行えます。

Windows Powered Smart Displayのプロパティ	
全般 電源 ネットワーク デバイス	
##5.10	
2555F	E 2-1
	1.41
7.81.22	
スタイラスのタップに画面が正しく反応していない場合は、	西 :1982
	Table
ユーザー接続の計作時に	
Smart Display への新しいユーザー接続を作成す るには、「新規作成」をタップしてください。	新規作成
) Birn	
↓ 状態の警告を表示する	
[OK キャンセル

画面は「Windows Powered Smart Displayのプロパティ」画面です

■ サウンドの設定

Smart Displayのシステムサウンドの設定ができます。システムサウンドとは、ア イコンをタップしたり、スクリーンキーボードでキー入力したときなどに鳴るタッ プ音のことです。

ダッシュボードを表示している場合は、「サウンド」欄で「大」「小」「オフ」の中から設 定できます。

ホストPCに接続している場合は、「サウンド」欄のつまみをドラッグすることで音量 を調節できます。ここでの設定は、システムサウンドだけでなく、Smart Displayの 内蔵スピーカから出力される音量の調節もできます。

■ スタイラスの設定

スタイラスでタップした位置とマウスポインタの動きにズレが生じているときは、 「再調整」ボタンをタップすることで、セットアップ時に行ったタッチスクリーンの 設定を再度行うことができます。画面の指示にしたがって、画面の+にスタイラスの 先端を合わせて設定してください。また、ダッシュボードの「設定」画面では、ダブル タップ時の距離や速度の設定もできます。

「詳細設定」タブの設定

「詳細設定」タブは、ダッシュボードの「設定」ボタンから起動した場合のみ表示されます。

IPアドレスの設定やDNSサーバーのアドレス設定が必要な場合は、「詳細設定」タブ で行います。IPアドレスを手動で設定するときは、「IP設定」欄で「IPアドレスを指定 する」ののをタップして③にし、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲー トウェイ」を入力してください。

DNSサーバーのアドレスを設定する場合は「DNS設定」欄で、「プライマリDNS」に DNSサーバーのIPアドレスを入力し、ネットワークにセカンダリDNSサーバーがあ る場合は、そのIPアドレスを「セカンダリ DNS」に入力します。

「システム情報」タブ/「デバイス」タブ

「システム情報」タブ、または「デバイス」タブには、Smart Displayとそのネットワーク設定についての情報が表示されます。

製品のバージョンや組み込まれたワイヤレスネットワークアダプタのMACアドレス、Smart DisplayのIPアドレス、サブネットマスクなどが表示されます。

PART4 Smart Displayに接続する

USBコネクタ

接続できるUSB対応機器について

本体右側面のUSBコネクタには、次のUSB対応機器を接続できます。

- ・USBキーボード(PK-KB010、PK-KB029)
- ・USBマウス(PK-KB009、PK-KB027、PK-KB024、PK-IO/MS01UP/BL)



USBキーボードとUSBマウスを接続する

- 1 USBキーボード裏面のUSBコネクタに、USBマウスのプラグを● くうに差し込む
- 2 USBキーボードのプラグを、図のように ← ← か本体前面に向くように差し 込む



- 🔁 🗶 E

USBキーボードを接続せずにUSBマウスのみを接続することもできます。 USBマウスのプラグの**-** くか本体前面を向くように差し込みます。

USB対応機器を使用するときの注意

- ・USBコネクタへのプラグの抜き差しは、3秒以上間隔をおいて行ってください。
- ・ 省電力状態のときや省電力状態に移行中、復帰中には、USBコネクタへのプラグの抜き差しを行わないでください。

メモリカードスロット

本体左側面にあるメモリカードスロットには、Windows CE標準ドライバ対応のメ モリカードを1枚取り付けることができます。

しチェック

- ・Windows CEでサポートしているカードアダプタについては、メモリカー ドメーカーの対応状況をご確認ください。
- ・本機で使用できるメモリカードは、ストレージデバイスとして認識される (データを保存できる)タイプのみです。
- ・メモリカード経由で本機にドライバやアプリケーションなどをインストー ルすることはできません。

メモリカードをセットする

しチェック

- ・メモリカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向も決まっています。本機では、メモリカードの表面(ラベルの貼ってある面)を本体前面に向けて差し込んでください。間違った向きでむりやり差し込むとコネクタやスロットを破損するおそれがあります。
- イジェクトボタン付きのメモリカードアダプタをセットしたときは、左側 面のカバーを閉めないでください。カバーを閉じることでイジェクトボタ ンが押され、アダプタに装着したメモリカードなどが外れることがありま す。
- ・コネクタを破損するおそれがありますので、メモリカードをセットすると
 きに無理な力をかけないように注意してください。
- ・メモリカードをセットしてから認識されるまでには、約7秒かかります。その間動作が止まったように見えますが、故障ではありません。
- ・Windows CE標準ドライバに対応していないメモリカードをセットした 場合は、メモリカードアクセスランプのは消灯したままです。
- 1 本体左側面のカバーを開ける
- 2 メモリカードスロットにメモリカードをゆっくりとまっすぐに差し込み、メ モリカードの端を押してスロット内にすべておさまるようにセットする



メモリカードのデータを見る

Smart Displayに内蔵されている「イメージビューワ(ImageViewer)」というソフトを使うと、メモリカードの画像データ(拡張子が.bmp、.jpg、.pngのデータのみ)を一覧表示したり、スライドショーで見たりできます。

「イメージビューワ(ImageViewer)」の使い方については、PART3の「イメージ ビューワ(ImageViewer)を使う」(p.27)をご覧ください。

ジチェック アプリケーションを使用中は、メモリカードを取り外さないでください。

メモリカードを取り外す

1 イジェクトボタンを軽く押す



2 メモリカードが少し飛び出したら、まっすぐ静かに引き抜く

Smart Displayに接続する

ヘッドフォン端子について

本機のヘッドフォン端子には、ステレオミニプラグ付きのヘッドフォンを接続できます。お持ちのヘッドフォンのプラグが大きくて入らないときは、電器店などで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグを購入してください。

●チェック
 ヘッドフォンを接続するときは、音量を小さくしてから接続してください。

マイクロフォン端子について

本機では使用できません。

ミニVGAコネクタ

本機の画面を、アナログRGBコネクタに対応したディスプレイやテレビなどの大画 面で見ることができます。添付の専用アナログRGBケーブルを使います。

1 本体上部のカバーを開け、添付の専用アナログRGBケーブルの小さい方のプ ラグを、VGAのマークを上に向けて本機のミニVGAコネクタに取り付ける

プラグを差し込むときに逆向きに差し込んだり、力まかせに押し込んだりしないでください。プラグやコネクタが破損するおそれがあります。

2 専用アナログRGBケーブルのもう一方のプラグとディスプレイのケーブル を接続する



バッテリ

本機は、コンセントがない場所でもバッテリのみで使用できます。ACアダプタを本 機から取り外すとバッテリ駆動になります。バッテリのみでの駆動時間は限られて いますので、長時間使用するときは、省電力機能(p.19)を使用することをおすすめ します。

バッテリ残量の確認方法について

バッテリ残量は、本体左上にある電源/バッテリランプ(-)(p.3)で確認できます。

- × t

バッテリの残量は、メニュー画面(ダッシュボード)でも確認できます。詳しくは、PART3の「ダッシュボードについて」(p.20)をご覧ください。

バッテリの残量が少なくなったら

バッテリ残量が少なくなった場合は、次のどちらかの操作を行ってください。

■ACコンセントが使えないとき

使えるACコンセントが近くになかったり、ACアダプタを持ってきていないなどの 理由で、すぐにコンセントを使用できないときは、使用中のアプリケーションを終了 し、本機の電源ボタンを押して省電力状態にしてください。なお、本機は省電力状態 のときでもわずかながら電力を消費するため、本機を長時間使わない場合や、バッテ リ残量がとても少ない(本体左上の電源/バッテリランプがオレンジ色に点滅して いる、またはダッシュボードの「バッテリ」アイコンの表示が、こことでも低いになっ ている)場合は、バッテリパックを取り外しておくことをおすすめします。

■ACコンセントが使えるとき

ACアダプタを持っていて、使えるコンセントが近くにあるときは、本機にACアダプ タを接続してコンセントから電源を供給してください。本体前面の電源/バッテリ ランプが緑色に点滅して、バッテリの充電がはじまります。

✓ メモ バッテリを充電しながら本機を利用することもできます。

上記の操作をしないで、バッテリ残量が少ないままバッテリのみで使用していると、 しばらくして自動的に省電力状態になります。

バッテリを充電するときの注意

- ・バッテリ充電中は、バッテリパックを本機から取り外さないでください。ショート や接触不良の原因になります。
- できるだけフル充電するようにしてください。バッテリ残量が少ない状態で少量の充放電を繰り返すと、バッテリ残量に誤差が生じることがあります。
- ・購入直後や長時間放置したバッテリは、必ずフル充電してから使用してください。

バッテリパックを交換する

バッテリは消耗品です。バッテリを充電してもバッテリの性能が回復しない場合は、 新しいバッテリパック(SD10専用)と交換してください。本機に取り付けることの できる交換用バッテリについては、ご購入元またはNEC 121コンタクトセンター にお問い合わせください。

参照

消耗品について→付録の「アフターケアについて」(p.52)

■バッテリパックを交換するときの注意

- ・バッテリパックの交換を行うときは、「安全にお使いいただくために」(p.iv)を必 ずご覧ください。
- ・バッテリパックやバッテリスロットの端子部分には絶対に触れないでください。
 接触不良の原因になります。
- ・特に必要でない限り、バッテリパックを交換しないでください。故障の原因となり ます。

■バッテリパックの取り外し方

- 1 本機の電源が入っている場合は、電源ボタンを押して電源を切る
- 2 電源コードのプラグをコンセントから抜いて、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 本体前面の液晶画面を下向きに伏せるように、静かに置く

チェック

本体を置くときは、ディスプレイや、机やテーブルなどを傷つけたりしない ように、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。 4 バッテリアンロックを上方向にずらしてロックを解除する



5 スライドスイッチを左側にずらしたまま、バッテリパックを手前に引いて取り外す



PART5 トラブル解決Q&A

Smart Displayを使っていて困ったことが起きたときは、このPARTまたはSmart Displayのヘルプをご覧になり対処してください。Smart Displayのヘルプは、次のようにして見ることができます。

■ホストPCに接続しているとき

Smart Display側で次の操作を行います。

- 1 画面右下にある 「をタップして、表示されるメニューから「Smart Display ヘルプを開く」をタップする
- 2「ヘルプトピックを選びます」から「ハードウェア」をタップし、「ハードウェ ア」欄にある「Windows Powered Smart Display」をタップして、下から 「Smart Displayのトラブルシューティング」をタップする
- ホストPCに接続していない、またはSmart Displayが利用できないとき ホストPC側で次の操作を行います。
 - **1** ホストPCの「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックする 「ヘルプとサポートセンター」が表示されます。
 - **2** 「ヘルプトピックを選びます」から「ハードウェア」をクリックし、「ハード ウェア」欄にある「Windows Powered Smart Display」をクリックして、 下から「Smart Displayのトラブルシューティング」をクリックする

Q:電源ボタンを押しても、画面が表示されない

A:バッテリパックやケーブル類が正しく接続されていない

『クイックスタートガイド』をご覧になり、バッテリパック、ACアダプタ、電源コードが正しく接続されているかどうか確認してください。

A:バッテリが消耗している

ACアダプタと電源コードをコンセントに接続して使用してください。ACアダプタ と電源コードを正しく接続しても電源が入らない場合は、バッテリを充電してから 使用してください。バッテリを充電しても電源が入らない場合は、新しいバッテリ パック(SD10専用)と交換してください。本機に取り付けることのできる交換用 バッテリについては、ご購入元またはNEC 121コンタクトセンターにお問い合わ せください。

■ここまでで問題が解決できないときは

ここまでで問題が解決できないときは、次の順番で問題が解決できないか試してください。それでも問題が解決できないときは、ご購入元またはNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

- ①ケーブル類およびバッテリパックをいったん取り外して、取り付け直した後、電源 ボタンを押す
- ②Smart Displayのヘルプ(p.26)の「Smart Displayを最新に保つ」-「USBケーブルを使用してSmart Displayを更新する」を参考にして、Smart Displayを復元する

Q:画面をタップしたり、ボタンを押しても何も反応しなくなった

●ホストPCに接続していないときに何も反応しなくなった場合

次の順番で問題が解決できないか試してください。それでも問題が解決できないと きは、ご購入元またはNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。 ①本体上部カバー内にあるリセットボタンをスタイラスの先端で軽く1回押す ②ケーブル類とバッテリパックをいったん取り外して、取り付け直した後、電源ボタ ンを押す

●ホストPCに接続しているときに何も反応しなくなった場合

次の順番で問題が解決できないか試してください。それでも問題が解決できないときは、ご購入元またはNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。 ①ホストPCを再起動する

②本体上部カバー内にあるリセットボタンをスタイラスの先端で軽く1回押す ③ケーブル類とバッテリパックをいったん取り外して、取り付け直した後、電源ボタンを押す

Q:ホストPCに接続できない

A:パスワードが間違っている

ホストPC側でユーザーアカウントに設定したものと同じパスワードが必要です。パ スワードを忘れてしまった場合は、ホストPC側でユーザーアカウントに設定したパ スワードを変更し、続いてSmart Display側でダッシュボードにある「編集」(p.20) をタップして表示される画面でパスワードを設定し直してください。

参照

- ホストPC側でのパスワードの変更→ホストPCに添付のマニュアル、またはWindows XPの ヘルプ
- ・Smart Display側でのパスワードの変更→PART3の「Smart Displayの設定をする」(p.34)

A:ホストPCが省電力状態になっている、または電源が入っていない

ホストPCが省電力状態になっているときや電源が入っていないときにホストPCに 接続しようとすると、画面中央に「リモート接続がタイムアウトしました。リモート コンピュータに接続し直してください。」と表示され、ホストPCに接続できません。 ホストPCを省電力状態から復帰させるか、ホストPCの電源を入れてください。

A:周囲に通信の障害となるものがある

ホストPCとSmart Displayとの間に壁などの障害物がある場合、接続できないことがあります。障害物から離れた場所に機器を設置してください。また、通信中には近くで電子レンジを使わないでください。

A:ワイヤレス接続が確立していない

Smart Displayの電源を入れた直後は、ワイヤレス接続の設定が読み込まれるため、 ホストPCに接続しようとしても正しく接続できないことがあります。ホストPCへ の接続は、Smart Displayの電源を入れた後しばらくしてダッシュボードの「ネッ トワーク」アイコンの表示が「」」とても良いに変わってから行うようにしてください。

A:ネットワークの設定が間違っている

手動でネットワークの設定を行っている場合、Smart DisplayとホストPC(または アクセスポイント)でIPアドレスが重複していたり、ネットワーク名(SSID)が異 なっていると正しく接続できません。また、WEPキーを設定している場合は、Smart DisplayとホストPC(またはアクセスポイント)で設定が異なっていると正しく接続 できません。

アクセスポイントを使っていて、DHCPサーバ機能を無効にしている(または利用できない)場合は、Smart DisplayのIPアドレスが、アクセスポイントに設定した範囲内で、他の機器と重複しない数値に設定されていないと正しく接続できません。

Q:ホストPCから切断されてしまう

A:ホストPC側で自動的に省電力状態になるように設定している

ホストPC側で自動的に省電力状態になるように設定している場合、設定した時間を 過ぎると自動的にホストPCから切断されます。ホストPCを省電力状態から復帰さ せた後、ホストPC側で「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテ ナンス」-「電源オプション」をクリックし、「電源設定」タブで「システム休止状態」と 「システムスタンバイ」を「なし」に設定することで、次回以降ホストPCから自動的に 切断されなくなります。

Q:アクセスポイントに接続できない

A:アクセスポイント側でネットワーク名(SSID)を検出されないように設定 している

ネットワーク名(SSID)が表示できるように、アクセスポイント側の設定を変更して ください。なお、アクセスポイントに設定したネットワーク名(SSID)やWEPキーが あらかじめわかっている場合は、「ワイヤレスネットワーク」タブ(p.35)で「追加」ボ タンをタップして、表示される画面でネットワーク名(SSID)やWEPキーを手動設 定することでアクセスポイントに接続できることもあります。

A:アクセスポイントのチャンネルが12ch以上に設定されている

Smart Displayの無線LANは、1ch~11chに対応しています。アクセスポイントのチャンネルを11ch以下に設定し直してください。

Q:TVやDVDなどの動画アプリケーションが動作しない

Smart Displayの仕様です。TVやDVDなど動画を扱うアプリケーションは広帯域 を必要とするため、うまく動作しないなど機能が制限される場合があります。

Q:Smart Displayを購入時の状態に戻したい

どうしてもトラブルを解決できないときなどには、Smart Displayを購入時の状態 に戻すことでトラブルを解決できることがあります。詳しくは、Smart Displayの ヘルプ(p.26)の「Smart Displayを最新に保つ」-「USBケーブルを使用してSmart Displayを更新する」をご覧ください。

付録

仕様一覧

本体

CPU		National Semiconductor® Geode™ SC3200統合プロ セッサ 266MHz		
メモリ	メインRAM	64Mバイト SDRAM		
内蔵ディスプレイ		10.4型TFTタッチスクリーン付き液晶ディスプレイ		
解像度・表示色 (別売の外付け ディスプレイ接続時)	800×600ドット	最大65,536色(最大65,536色)		
サウンド機能	スピーカ	内蔵モノラルスピーカ		
通信機能	ワイヤレスLAN	2.4GHzワイヤレスLAN本体内蔵 (IEEE802.11b準拠)、 11チャンネル		
入力機器	タッチスクリーン部	抵抗膜式		
	操作ボタン部	輝度UPボタン、輝度DOWNボタン、ダッシュボードボタン、入 カパネルボタン、カーソルボタン、Enterボタン		
スロット		メモリカードスロット(PCMCIA)×1*1		
インターフェイス	USB	コネクタ4ピン×1*2、ミニUSBコネクタ×1*3		
	ディスプレイ(アナログ)	専用コネクタ×1		
	ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1		
	マイク入力*4	モノラルミニジャック×1		
バッテリ駆動時間*	5	約2.5時間		
バッテリ充電時間*	5	約2.5時間		
電源*6		リチウムイオンバッテリまたはAC100~240V±10%、 50/60Hz(ACアダプタ経由)* ⁷		
消費電力*8	標準/最大	約12W/約40W		
温湿度条件		5~35℃、20~80%(ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体	290(W)×220(D)×31(H:最薄部)mm		
質量	本体	約1.5kg		
インストールOS		Microsoft® Windows® CE for Smart Displays		
主な添付品		ACアダプタ、クイックスタートガイド、マニュアル、専用アナロ グRGBケーブル* ⁹ 、ミニUSBケーブル、スマートディスプレイ コンパニオンCD-ROM、バッテリ、スタイラス×1		

付録

- * 1: PCカードスロットタイプのWindows CE標準ドライバ対応メモリカードリーダ・ライターをご利用頂けます。
- * 2: USBコネクタにはUSBキーボード・USBマウスのみ接続可能です。その他のUSB機器には対応しておりません。
- *3:初回セットアップ時、ユーザ追加、ディザスタリカバリ時に利用する専用ポートです。
- * 4:本機では未サポートとなります。
- * 5: バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。
- * 6: バッテリは消耗品です。
- *7:標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
- *8:液晶ディスプレイを最大輝度に設定したときの消費電力です。
- * 9: ミニD-Sub15ピンへの変換ケーブルです。別売りの外付けディスプレイと接続できます。

2.4GHzワイヤレスLAN

項目	規格
通信速度	11M/5.5M/2M/1M(bps)(自動切替)*1
準拠規格	ARIB STD-T66(小電力データ通信システム規格) IEEE802.11b(2.4GHzワイヤレスLAN標準プロトコ ル)
変調方式	DS-SS方式
通信距離	見通し約70m(アクセスポイントとの通信時)*2
使用無線チャンネル	1~11ch
RF周波数帯域	2.4GHz帯全域(2.4~2.4835GHz)

※1: IEEE802.11b規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。

※2:通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、OSなどの使用 条件によって異なります。

健康のために

コンピュータを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作 業にくらべて次のような症状がおこりやすいと言われています。

- ・眼が疲れたり、重く感じる
- ・ものがぼやけてみえる
- ・疲れやすい
- ・頸(くび)から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

- ・1時間の作業につき10~15分の休息時間をとる
- ・休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

良い作業姿勢をとりましょう

コンピュータを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

- ・背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る
- ・ 画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする

機器をこまめに調節しましょう

機器は使いやすい状態にこまめに調節してください。

■ 角度調節

本機は、背面にあるスタンドを使って角度調節ができるようになっています。まぶし い光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、角度を調節す ることは大変重要です。

6 参照

スタンドを使って角度調節する→PART1の「各部の名称と役割」(p.3)

■ 画面の輝度(明るさ)調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度は異なります。 そのため、画面の輝度は、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要 です。

6 参照

輝度を調整する→PART1の「各部の名称と役割」(p.3)

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスのご相談は、ご購入元、NEC 121コンタクトセンターなどで承っています。NEC 121コンタクトセンターについて詳しくは、『NECサービス網一覧表』を ご覧ください。

消耗品/消耗部品について

本製品には、消耗品と消耗部品が含まれており、長時間使用を継続した場合、早期の 部品交換が必要となります。

消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	種類の内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗します。 本体の保証期間内に関わらず、お客様 ご自身で購入し、交換していただくも のです。	CD-ROM 媒体、 バッテリパック、 スタイラスなど
消耗部品	使用頻度あるいは経過年数により消 耗、摩耗し修理ができなくなる部品で す。本体の保証期間内であっても部品 代が有料の場合があります。詳しくは NEC 121コンタクトセンターにご相 談ください。	液晶ディスプレイなど

- ・本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。
- ・記載部品は代表例です。
- 消耗部品の消耗時期は、1日8時間のご使用で約5年が目安です。
 (ご使用環境により差があります。また、故障しないことを保証するものではありません。)

お手入れ

お手入れをはじめる前に

チェック

- ・お手入れにはシンナー、ベンジンなど揮発性有機溶剤や化学雑巾は使用しないでください。外装を傷めたり、故障の原因となることがあります。
- ・水やぬるま湯を本機に直接かけないでください。傷みや故障の原因となる ことがあります。

■ 準備するもの

汚れが軽い場合は、やわらかい素材の乾いたきれいな布を用意してください。 汚れがひどい場合は、水かぬるま湯を含ませて堅くしぼったきれいな布を用意して ください。

OA機器用クリーニングキットも汚れをふき取るのに便利です。

OA機器用クリーニングキットについては、ご購入元、またはNEC 121コンタクト センターの修理相談窓口などにお問い合わせください。

お手入れのしかた

■ 本体

やわらかい素材の乾いたきれいな布でふいてください。 水やぬるま湯は使わないでください。

■ 電源コード/ACアダプタ

長期間にわたって接続したままにしていると、プラグに埃がたまることがあります。 定期的に埃をふき取るようにしてください。

譲渡と廃棄について

本機を譲渡するには

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合は、所定の手続きにしたがって、「お客様登録」を行ってください。

■ 譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。 ①本機に添付されるすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと ②譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡する こと(添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

チェック

ご登録されている製品を第三者に譲渡(売却)する場合は、121ware登録セン ター(TEL: 0120-469-121)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお 願いいたします。

■ 譲渡を受けるお客様へ

NECのパーソナル商品総合情報サイト「121 ware.com」での登録をお願いします。 http://121 ware.com/my/にアクセスし、「新規登録」で121コミュニケーション ID(ログインID)を取得したあとに、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録すること ができます。あるいは、お客様登録に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは 封書でお送りください。

●記載内容

①本体型名および保証書番号(本機背面に記載の型名および製造番号)

②以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

③あなたの氏名、住所、電話番号

●返送先

〒183-8501 東京都府中市日新町1-10(NEC府中事業場) NEC 121ware登録センター係行

本機を廃棄するには

①本機の所有者が個人の場合(一般廃棄物として廃棄) 廃棄方法に関しては、市町村などの各自治体にお問い合わせください(2003年

1月現在)。

②本機の所有者が事業者の場合(産業廃棄物として廃棄)

当社は資源有効利用促進法に基づき、積極的に当社の回収・リサイクルシステムにしたがって資源の有効利用につとめていますので、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

URL http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/renrakusaki.html

バッテリパックのリサイクルについて

- ・本機はリチウムイオン電池を使用しています。
- ・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池、および使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、以下の拠点に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。
 ー個人ユーザ様:充電式電池リサイクル協力店くらぶ

※詳細は、電池工業会ホームページ(http://www.baj.or.jp/)をご覧ください。 - 法人ユーザ様:NEC法人向け二次電池持ち込み拠点

※詳細は、NEC環境ホームページ(http://www.nec.co.jp/japanese/profile/kan/index.html)をご覧ください。

- ・リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
 - 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
 - -(社)電池工業会小型二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイク ル協力店くらぶ事務局
- ・リサイクル時のご注意
 - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
 - -外装カバー(被膜・チューブなど)をはがさないでください。
 - 電池を分解しないでください。



索引

英字

DCコネクタ	6
Enterボタン	5
ImageViewer	
Internet Explorer	
USBコネクタ	6, 37

あ行

イメージビューワ	27
インターネット	29
お手入れ	52
オンラインマニュアル	26

か行

カーソルボタン	5
拡張用コネクタ	6
輝度調節ボタン	4

さ行

サウンドの設定	
システム情報	
仕様一覧	
省電力機能	
譲渡	
消耗品	
消耗部品	
スクリーン キーボード	
スタイラス	1, 22
スタイラスの設定	
スタイラス用スロット	5
スタンド	6, 51
スピーカ	5
設置場所	2
セットアップ	7

た行

ダッシュボード	
ダッシュボードボタン	4
タッチ スクリーン	4
タップ	15, 22
ダブルタップ	
手書きパッド	
電源/バッテリランプ	З
電源の設定	
電源ボタン	5
添付品	1
ドラッグ	23

な行

内蔵マイクロフォン	4
入力パネル	23
入力パネルボタン	5

は行

54
6, 21, 42
16
6, 41
26
52
18
17
25

ま行

マイクロフォン端子	6, 41
右クリック	25
ミニUSBコネクタ	4
ミニVGAコネクタ	4, 41
メモリカードアクセスランプ	4
---------------	-------
メモリカードスロット	6, 38
や行	
ユーザーの追加	33
ら行	
リセットボタン	4
わ行	

ワイヤレスネットワークの設定	35
ワイヤレスランプ	4

このマニュアルは再生紙 (古紙率:表紙50%、本文100%) を使用しています。



リチウムイオン電池の リサイクルにご協力ください。

ユーザーズマニュアル



初版 2003年1月 NEC P 853-810601-083-A Printed in Japan

